

# タイルとホコラとツーリズム

谷本 研 / 中村 裕太 (会場設営:studio森森)

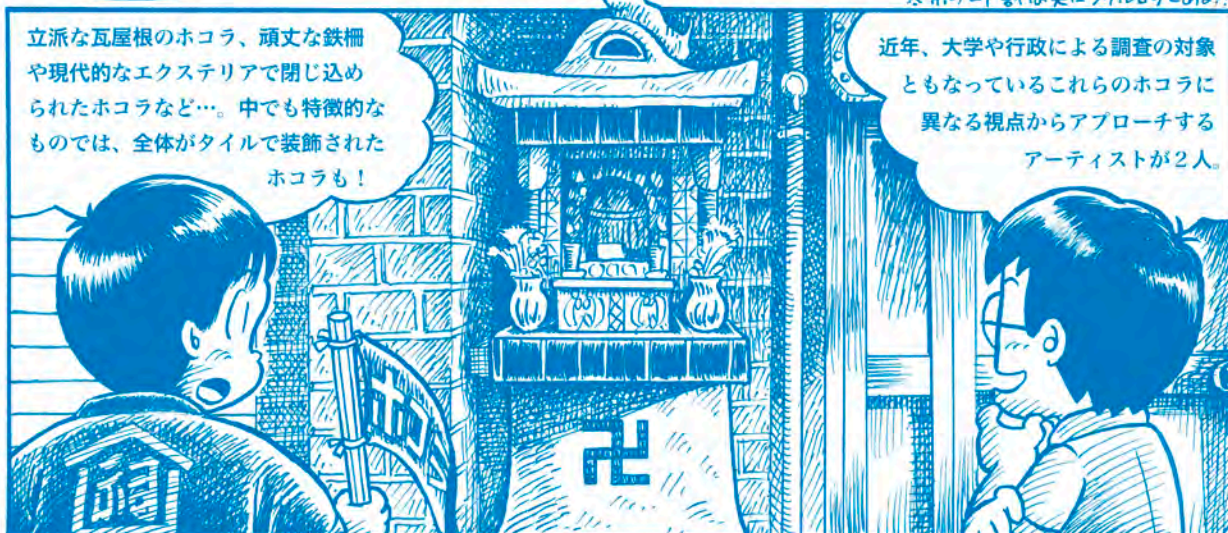
2014年8月14日[木] — 8月24日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

主催 | 「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会

協力 | Gallery PARC / 東山 アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS) / みずのき美術館 / 一般財団法人たじみ・笠原タイル館



※京の町割りは実にタイル的である!!



※京都のホコラには、地藏菩薩のほか、天日如来や湯田彦、稻荷明神などもある。



※なお、2人をひきあわせたのは会場設営を担当するStudio森森

Illustrated by Ken Tanimoto



# タイルとホコラとツーリズム

谷本 研 / 中村 裕太 (会場設営:studio森森)

2014年8月14日[木] — 8月24日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

主催 | 「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会

協力 | Gallery PARC / 東山 アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS) / みずのき美術館 / 一般財団法人たじみ・笠原タイル館



【参考画像:谷本研】  
《ヤオロスノホコランタン》  
丹波国分寺跡アートスケープ展示風景  
谷本研×みずのき畑チーム×studio森森  
2010年 撮影:佐野大祐  
©谷本 研

## ご案内

Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]では、2014年8月14日[木] — 8月24日[日]まで、「タイルとホコラとツーリズム」展(主催:「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会)を開催いたします。

京都の街角を歩いた際、不意に地蔵菩薩や大日如来などを奉ったホコラを目にすることがあります。それらの多くはコンクリートや石詰みの基礎の上に木造の社を持つものなどですが、そのしつらえにタイルづくりを取り入れたものもしばしば見受けられます。今も街角に残るホコラには、それらが地域に受け継がれ、奉られてきた信仰の対象である事を伺い知る事が出来ます。また、しばしば目にするタイルづくりのホコラには、それらが受け継がれるにあたり、今日的な都市の様相を取り入れてきた歴史や変遷に思いを馳せるとともに、タイルという建材の持つ清潔さとホコラの持つ神聖さが無縁ではないだろう事を想像させます。

本展はそれぞれ特異な表現活動を続ける谷本研(たにもと・けん / 1973~)と中村裕太(なかむら・ゆうた / 1983~)の美術家2名が、京都市内で目にするホコラ(路傍祠)の生態系に着目したもので、「タイル」と「ホコラ」をそれぞれのポイントとして捉え、それらを地域における「ツーリズム(観光)」といった視野で考察する試みです。

京都市立芸術大学大学院造形構想専攻修了後、アートとその周縁に関わりながら企画活動を行うとともに、観光ペナントの収集研究家として知られる谷本研は、独自のフィールドワークにより市内中心部のホコラから三十三所を厳選し、その巡礼ルートを編集するプロセスを通じて、「聖と俗のはざま」に思考を巡らせます。2011年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了し、〈建築工芸〉という視点からタイル・陶磁器などの理論と制作を行なう中村裕太は、街角で見かける内装タイルで装飾された〈タイルホコラ〉に注目し、建築・工芸・民俗の観点からのリサーチをもとに、路傍で採取したタイル片を用いた盆棚を会場内に組み上げます。

会期中には谷本がツアーコンをつとめるホコラ巡りツアー「ホコラ三十三所巡礼ツアー」や、京都の地蔵信仰や地蔵盆の歴史をもとに、〈信仰〉の対象をどのように〈観光〉の視点で展開するのを取り上げるクロージング・トーク「信仰を観光する」を開催するなど、「タイルとホコラ」を巡る様々なオブジェで飾り立てられたギャラリーは、ツアーのための観光案内所やトーク会場となります。

地蔵盆の時期、「タイル」と「ホコラ」という一見関わりの少ないテーマに取り組む本展では、身近な京都のさらに見過ごされがちなスポットに焦点をあてることで、そこから広がる新たな都市空間への視点を提案します。

# タイルとホコラとツーリズム

谷本 研 / 中村 裕太 (会場設営:studio森森)

2014年8月14日[木] — 8月24日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

主催 | 「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会 協力 | Gallery PARC / 東山 アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS) / みずのき美術館 / 一般財団法人たじみ・笠原タイル館



【参考画像:中村裕太】  
《日本陶片地図》  
陶片、絵葉書、貼箱  
100×148×40mm  
2012年 撮影:表恒匡  
©中村裕太

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[\[info@galleryparc.com\]](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

**展覧会名** タイルとホコラとツーリズム

**出品作家** 谷本 研 (たにもと・けん)、中村 裕太 (なかむら・ゆうた) 会場設営:studio森森

**会期** 2014年8月14日(木) — 8月24日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊・金曜のみ20:00まで開廊・最終日18:00まで

**主催** 「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会

**協力** Gallery PARC / 東山 アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS) / みずのき美術館 / 一般財団法人たじみ・笠原タイル館

**料金** 無料

**展示内容** 【インスタレーション】

谷本研と中村裕太の美術家2名が、京都市内で目にする地藏菩薩や大日如来などのホコラ(路傍祠)の生態系に着目し、フィールドワークやリサーチを経てそこにツーリズムの視点を持ち込むことで、新たな視野を提示する。「ホコラ」と「タイル」をポイントに、会場内に大型のオブジェを展開。会期中にはツアーやトークなどにより、多角的に「タイルとホコラ」を取り上げます。

**関連イベント** ・ワークショップ「ホコラ三十三所巡礼ツアー」 8月16日(土)・8月17日(日)の各13:00~16:00 \*要予約/各回参加費500円

・クロージング・トーク「信仰を観光する」 8月23日(土) 15:00~17:00 \*予約不要/無料

**会場** Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク] 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【Tel & Fax】 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 http://www.galleryparc.com

**アクセス** 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

**問い合わせ** Gallery PARC (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

【Tel & Fax】 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com



# タイルとホコラとツーリズム

谷本 研 / 中村 裕太 (会場設営:studio森森)

2014年8月14日[木] — 8月24日[日] 11:00~19:00 \*月曜日休廊・金曜日20:00まで・最終日18:00まで

主催 | 「タイルとホコラとツーリズム」実行委員会

協力 | Gallery PARC / 東山 アーティスト・プレイズメント・サービス(HAPS) / みずのき美術館 / 一般財団法人たじみ・笠原タイル館

## ワークショップ「ホコラ三十三所巡礼ツアー」

市内中心部からセレクトした三十三所のホコラを、お盆時期の2日に分けて徒歩で巡ります。普段通り過ぎていた町を、これまでとは異なる目線で味わいましょう。すべて巡れば、きっとご利益あり!?

定員 ■ 各コース 15名

料金 ■ 500円

ツアーコン ■ 谷本 研

予約方法 ■ 氏名 / 住所 / 電話番号 / メールアドレス / 希望のコース (A or B) を明記の上、【 [tanimoto@seian.jp](mailto:tanimoto@seian.jp) 】までメールにてお申し込み下さい。当日まで受け付けていますが、定員になり次第、締め切らせていただきます。

備考 ■ 小雨決行・荒天中止



### <Aコース(南行き)>

8月16日(土) 13:00~16:00 ※終了時間は若干の変動あり

第一番~第十七番を巡礼。歩行距離...約7.5km

PARC → 六角堂 → 仏光寺界限 → 松原道祖神社周辺 → 四条烏丸(現地解散)

### <Bコース(西行き)>

8月17日(日) 13:00~16:00 ※終了時間は若干の変動あり

第十八番~第三十三番を巡礼。歩行距離...約8km

PARC → 堀川御池周辺 → 三条会商店街周辺 → 壬生寺界限 → 四条大宮(現地解散)

## クロージング・トーク「信仰を観光する」

京都の地藏信仰や地藏盆の歴史をもとに、〈信仰〉の対象をどのように〈観光〉の視点で展開するのか。さらに、アートと人類学の関係性にも踏み込んだトーク・イベントを、まさに地藏盆の日に開催します! 町内の隣人や子供達になった気分で集いましょう!

日時 ■ 8月23日(土) 15:00 - 17:00

定員 ■ 30名 \*入場無料/予約不要

講師 ■ 師 茂樹 [花園大学文学部准教授・仏教学]

菊地 暁 [京都大学人文科学研究所助教・日本民俗学]

コーディネーター ■

佐藤 守弘 [京都精華大学デザイン学部教授・視覚文化論]

## 出展作家略歴

### 谷本 研 Tanimoto Ken

1973年 神戸生まれ、滋賀在住。

京都市立芸術大学大学院造形構想専攻修了。アートとその周縁に関わりながら企画活動を行う。

代表作に「デカダン秘宝館」(1996 / ギャラリーココ)、「当世物見遊山」(1999 / お宿吉水)など。2002年からは大津市仰木をフィールドに「地蔵プロジェクト」を展開中。

2003年「新開地アートブックプロジェクト」や、2007年より福祉施設「みずのき」のアートプロジェクトにも関わる。

デザインや漫画も手掛け、『プリコラージュ・アート・ナウ 日常の冒険者たち』(2005 / 国立民族学博物館)や「Dan Graham: Beyond」(2009 / MOCA) 図録などに漫画を執筆。観光ペナントの収集研究家として知られ、著書に『Pennant Japan』(PARCO出版)がある。

### 中村 裕太 Nakamura Yuta

1983年東京生まれ、京都在住。

2011年京都精華大学芸術研究科博士後期課程修了。

博士(芸術)。博士論文「郊外住居工芸論—大正期の浴室にみる白色タイルの受容」。京都精華大学・京都造形芸術大学非常勤講師。

〈建築工芸〉という視点からタイル、陶磁器などの理論と制作を行なう。最近の展示に「六本木クロッシング2013展:アウト・オブ・ダウト—来たるべき風景のために」(2013 / 森美術館)など。

またapplied arts(応用芸術)としての工芸を作り手の視点から読み解き、その制作の方法を探っていく〈APP ARTS STUDIO〉という教育プログラムを運営。

<http://nakamurayuta.jp/>

<http://appartsstudio.tumblr.com/>

